

チャンダウ小学校との訪問交流

以前からお伝えしていたとおり、4日（火）に台湾からチャンダウ小学校の19名の皆さんをお迎えして、交流を深めました。まず、10時過ぎに1年生が、垂れ幕と台湾国旗の小旗で、歓迎の出迎えを行いました。次に、多目的室で歓迎式を行いました。



台湾では昔から「お土産を振る舞う文化」を大切にしているようで、両校の挨拶の後は、お土産の交換を行いました。お茶菓子には、鹿屋の名菓「唐芋レアチーズケーキ」「だっきしょ饅頭」を準備しました。皆さん、美味しそうに召し上がり、大好評でした。各学年での英語の授業も、笑顔あふれる交流が見られました。各学級での活動は多岐にわたり、七夕飾り作りや昔遊びなど日本的な文化に触れる機会も多く見られました。また、ドッジボールで交流する学級もあり、お互いに汗びっしょりでの活動となりました。



我々が考えるよりも、子ども同士の交流は驚くほどにスムーズで、多くの笑顔が溢れる一日となりました。



お見送りの際は、ホストファミリーの皆さんとも、まるで親子のように別れを惜しむ姿が見られました。今回の交流が、両校はもとより、両国の文化交流の礎となり、未来に繋がる有意義なものとなるよう願っています。多くの御理解、御協力をいただき、ありがとうございました。

着衣水泳で、水の事故から自分の命を守ろう。

今年度も、7月第1週目に「着衣水泳」を全学年で実施しました。これは万が一の時、洋服を着たままでは、思うように体が動かない、とても泳ぎにくいということを体感させることをねらいとしています。同時に、学習の後半ではペットボトルにつかまることで、長い時間、水に浮いていらることも体験させます。この時期は、川遊びや海水浴など水とふれあう機会も増えます。このような学習をすることで、自分の命を守る術を少しでも身に付けさせたいと考えています。

今年度は4年ぶりに、PTA保体部を中心としたプール開放(12日間)を実施する予定です。命を守りながら、水に親しみ、楽しい思い出をつくりましょう。

夏季休業に向けて、充実した40日間にしましょう！

1学期も、各御家庭や地域の皆様の見守り、安全に関する御指導のお陰で、何とか大きな事故や怪我、長期入院等もなく終了できることを感謝申し上げます。しかしながら、40日余りの長い期間は、十分に危険を予知しながら過ごすことが大切です。地区PTAやスクールゾーン委員会などで、話題になった危険箇所や不審者事案等も話題にいただき、子どもたちの安全・安心を守りたいものです。保護者・地域の皆様も、感染症や熱中症に御留意いただき、ゆっくりとお過ごしください。